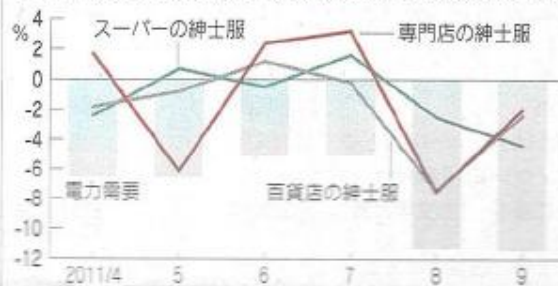


11年春夏の電力需要と業態別の紳士服販売(前年比)



電力需要は電気事業連合会、百貨店は日本百貨店協会、スーパーは日本チェーンストア協会、専門店が青山商事のデータをもとに作成

昨年の特需、持続性弱く

11年のスーパーマーケットヒズ特需は国内衣料市場では久々の起爆材料だった。矢野経済研究所はこのプラス効果も加味し、11年の国内アパレル総市場と紳士服市場の規模がそれぞれ4年ぶりに増加に転じたとみている。ただ、爆発力が強い割に持続性に欠けた。11年春夏の月次の紳士服売上高をたどると百貨店や紳士服専門店などの各業態で暑い盛り(8月以降)に失速した。そんな実績から、反動減の危機感がつ

2年目にして早くも低価格競争が激化する兆しもある。ファッショングンサル会社モドインターナショナルの金田有弘社長は「電力供給や気温などの今春夏の需要を占うには不確定な要素が多多いが、現時点で確実なのは昨年に比べて全体に価格競争が激化する」とだ」と言い切る。

価格競争が激化しても利益を確保するために高機能だけでなく消費者の目をひき付ける素材開発が欠かせない。そんな問題意識に端を発した動きもある。

機能+αの魅力必要に

の。2年目にして早くも低価格競争が激化する兆しもある。ファッショングンサル会社モドインターナショナルの金田有弘社長は「電力供給や気温などの今春夏の需要を占うには不確定な要素が多多いが、現時点で確実なのは昨年に比べて全体に価格競争が激化する」とだ」と言い切る。

大阪市の生地卸大手、瀧定大阪メンズファッション部の岩崎能久部長は「現在、人気が高い合繊の機能素材を潤沢に供給できる体制を整えたが、市場全体で供給過多に陥る危機感が強い」と指摘。同時に並行で新しいトレ

注目ののは天然素材だ。綿や麻を糸や生地にする各工程に工夫し、天然素材ながら清潔感が高いなど機能性も備えた素材の商品化を目指し、研究を急ぐ。(堀大介)

自然の恵み & ステーキは…

本店 新橋田村町

あら がわ  
**麩皮**  
ADAGAWA

新しい"麩皮"の歴史が  
今始まる……

東京都港区西新橋3-23-11 御成門小田倉ビル1階  
TEL (03) 3438-1867 FAX (03) 6426-0067